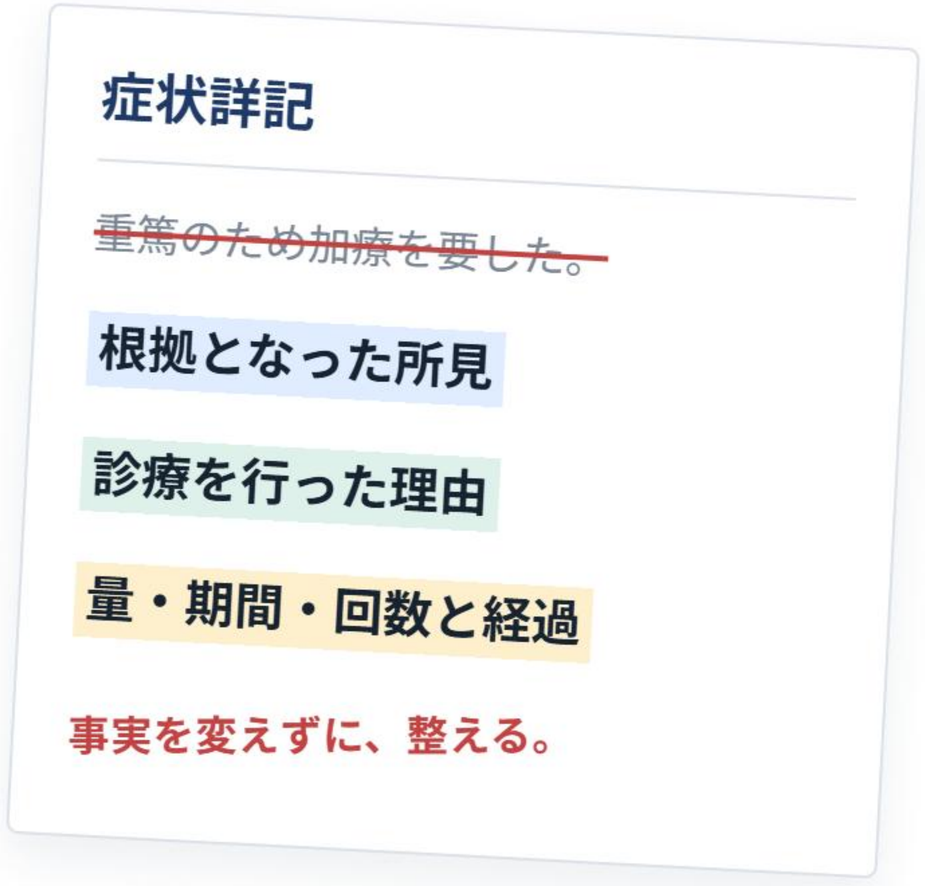
# 過不足のない症状詳記

## 書き方と、ツール・AIの使い方

文章を増やす前に、
伝える事実を選ぶ。




**事実と理由をつなぐ。**

医事課からの依頼

医知創造ラボ

# 全文を貼る？　一行で返す？

「この患者さん、症状詳記をお願いします。」

### 退院サマリーを、そのまま

入院時の症状・診察所見
治療経過・検査結果
食事の好み・生活上の希望
退院後の予定……

それとも

### 短い結論だけ

**重篤のため
加療を要した。**

架空の依頼場面／厚労省「保険診療の理解」p.20

# 3つの問いに、事実と理由で答える

ツール作者の整理です。公的な様式ではありません。

1. この診断・重症度の根拠は？
2. この検査・治療・管理が必要だった理由は？
3. この量・期間・回数の理由と、その後の経過は？



**症状詳記の下書き**

- 症状・所見と診断根拠
- 実施した診療の理由
- 量・期間・回数と経過

問いごとに、必要な事実を選ぶ。

脳梗塞の架空例

医知創造ラボ

# 「必要に応じて」の中身を書く

## 症状詳記

~~重篤のため加療を要した。~~

~~必要に応じて診察した。~~

**どんな所見？**

**何のための診察？**

結論だけの文を、

事実と理由に戻す。

診療録の事実：

入院中に、麻痺が増悪した。

架空症例・治療の推奨ではありません。／厚労省「保険診療の理解」p.20

# 今回の説明と関係する事実を残す

### 貼り付けた退院サマリー

右片麻痺と構音障害があった。

~~食事の好みを相談した。~~

~~生活上の希望を家族と話した。~~

入院中に麻痺が増悪した。

**追加診察の理由に**
**必要な事実は？**

関係の薄い経過と、
同じ理由の重複を整理する。

脳梗塞の詳記を添削する

医知創造ラボ

# 足りない文を補い、多すぎる文を削る

**足りない**

重篤のため加療を要した。
必要に応じて診察した。

どんな所見？　何のため？

**多すぎる**

右片麻痺と構音障害。
~~食事の好みを相談した。~~
~~生活上の希望を家族と話した。~~
入院中に麻痺が増悪した。

今回の診療に関係する事実だけ

→

理由を足す
重複を削る

## ちょうどよい詳記へ

事実と理由をつなぐ

**1　診断の根拠**

右片麻痺と構音障害があり、MRIで
左放線冠に病変を認め、脳梗塞として入院した。

**2　追加診察の理由**

麻痺の増悪を認めたため、
神経所見の変化を確認する診察を追加した。

**3　反復した理由と経過**

麻痺が変化する間は確認を繰り返し、
変化が落ち着いた後に観察方法を見直した。

残る麻痺へのリハビリテーションのため転院した。

架空症例・治療の推奨ではありません。／厚労省「保険診療の理解」p.20

# 書いていない情報は、作らず「要確認」

## 事実でつないだ下書き

全身けいれんを反復し、
発作の間にも意識が回復しなかった。

初期治療後も発作が続いたため、
追加の静注治療を行った。

その後、けいれんが消失し、反応が改善した。

**投与量・回数・期間と、その理由：要確認**

## 診療録・投与記録へ

入力にない情報を、
文章の都合で埋めない。

ひな型から事実を選ぶ

医知創造ラボ

# 選択肢は、診療録に合うものだけ




## この作例で入力

片麻痺

構音障害

MRI所見

**選んだ文を、**
**診療録で確かめる。**

下書きができたら

医知創造ラボ

# 3つの問いと、文章を見比べる

【症状詳記】

■1. なぜこの診断・重症度と言えるのか

神経症状として片麻痺、構音障害を認めた。…

→ 診断の根拠は？

■2. なぜこの検査・治療・管理が必要だったのか

入院中に麻痺の増悪を認め、神経所見の変化を確認するため
診察を追加した。

→ 実施した理由は？

■3. なぜこの量・期間・回数が必要だったのか、どうなったか

脳卒中ケアユニット入院医療管理料（入院から7日間）。
…その後、新たな増悪はなかった。

→ 量・期間と経過は？

見出しあり／なしを切り替え、
必要な箇所を手直しできます。

過不足チェックを見る

医知創造ラボ

# 指摘がなくても、診療録との照合は必要




## 入力欄の不足なし

≠

## 記載が十分という保証

空欄・本文の表現を機械的に確認。
医学的正否や算定可否は判定しません。

# 文章を整えたいときは、こちら

AIで文章を整える指示文をコピー

AIに過不足を指摘させる指示文をコピー

**ツールが作る指示文の要点**

事実を変えずに、
簡潔で自然な日本語に整える。

**返してほしいもの**
**3つの問いの下書き**
＋
**要確認事項**

# 過不足を知りたいときは、こちら

AIで文章を整える指示文をコピー

AIに過不足を指摘させる指示文をコピー

### 書き直しはさせず、指摘を求める

足りないところと余分なところを、
該当箇所とともに挙げる。

### 指摘してほしいこと

答えていない問い／裏付けのない記述

説明に不要な経過／重複

**判断できないものは「要確認」**

出力を採用する前に

医知創造ラボ

# その文は、診療録に書かれていたか

### 架空の診療録の事実

右片麻痺と構音障害。

入院中に麻痺が増悪し、
神経所見の確認のため診察を追加。

変化が落ち着いた後、
観察方法を見直した。

→

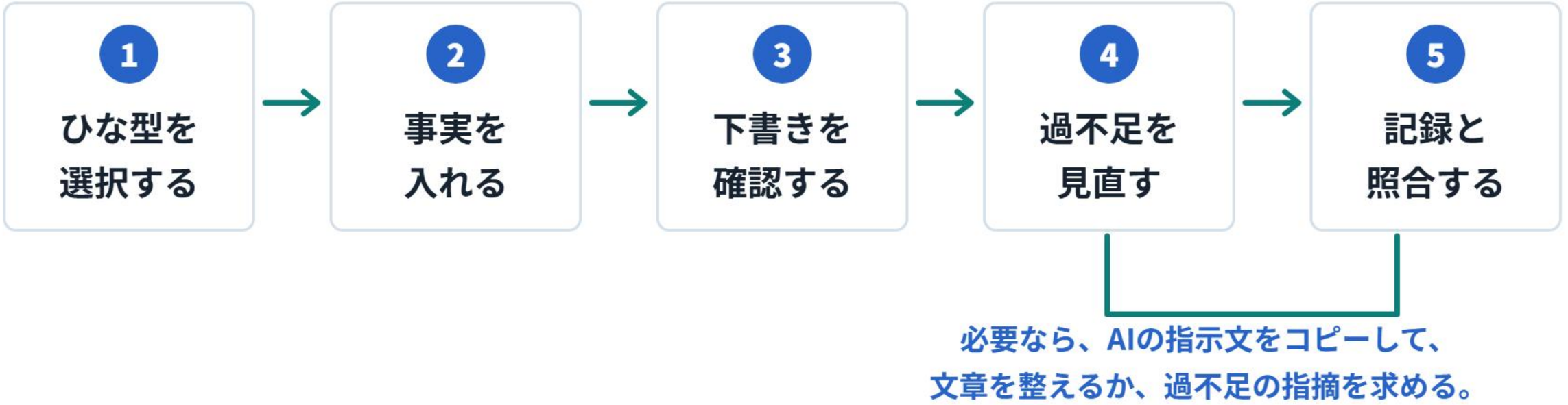
### 確認する下書きの例

麻痺の増悪を認めたため、
診察を追加した。

~~重篤で、長期の集中管理が必須であった。~~

**記録にない判断を、足さない。**

# 下書きとチェックの後に、記録へ戻る



残しておきたい注意

医知創造ラボ

# 提出する文章は、担当医が確定する

- ✓ 診療録にない事実を書かない
- ✓ 請求の認容を保証しない
- ✓ AIは補助として使う

短くして理由を落とさず、
説明に必要な事実を残す。

**提出前の症状詳記**

記録にある事実

診療を行った理由

量・期間・回数と経過

**担当医が診療録と照合**

厚労省「保険診療の理解」p.20／審査の意義／ツールの入力注意

医知創造ラボ

# 過不足のない症状詳記を、診療録から

## 最後までご視聴いただき、ありがとうございました。

チャンネル登録、高評価をよろしくお願いします。

次回の動画も、どうぞお楽しみに。